★連載小説★

満天の星、一粒の涙

【第八話】恋のバースデイ

転勤するんだと告白されて

作家で恋愛カウンセラーの安藤房子さんによる、〝読むだけで恋愛上手になれる恋愛カウンセリング小説〟の第八話。毎回〝夜のシゴト〟をしている女性が主役のストーリーですが、今回の主役は夜限定ベビー・シッターのジュンコ。ずっと密かに好きだったナオトが転勤。ナオトから告白されたジュンコがとった行動とは……？

安藤 房子

作家・恋愛カウンセラー。恋愛サイト" HeartJunction" http://www.heart-junction.com主宰。講演、テレビ、ラジオ、雑誌でも幅広く活動中。著書は「しあわせな関係（セックス）」（オデッセウス出版）など。

「高橋さんてさ、本当にベビーシッターの仕事が好きなんだね」

表参道の隠れ家風な居酒屋で、ちょうどお店のお勧めメニューの※1アボカドとマグロのタルタルサラダにジュンコが箸をつけようとしていたとき、ナオトはそう言ってにっこり微笑んだ。

三年前から憧れていた、今村ナオトとの初デート。自分が勤める会社の直属の上司であるからこそ、今まで気持ちをおさえてきたけれど、こうしてほめられたりすると、ますますナオトにひかれてしまう。それでもジュンコは、

「ええ。小さい頃からの憧れの仕事でしたから」

と、会社の部下としてのスタンスをくずさないよう、注意深く会話をしていた。だって、※2食事に誘ってくれたからといって、ナオトが自分を好きとは限らない。もしかしたら、仕事の延長で、部下として誘ってくれているだけかもしれないのだから。

ナオトは、ジュンコが四年前から勤めるベビーシッター派遣会社の統括マネージャー。彼のもとで、昼は社内事務をこなし、夜はベビーシッターとしてさまざまな家庭に派遣され、子供をあやしている。

一流企業のOLだったジュンコが、三十歳を目の前にしてこの会社に転職したことにはワケがあった。もともと子供が大好きで、保育士に憧れていたのだが、両親の強い希望に逆らうことができずに、一流企業のOLになった。

だけど、どうしても保育の道をあきらめきれなかった。このまま好きでもないOLの仕事を続けることに虚しさを感じ、たまたま手にした転職情報誌で見つけたのが、今の会社だったのだ。

会社が求めていたのは、昼間の事務をこなしてくれる女性。だがジュンコは、夜だけでいいからシッターをさせてほしいと、面接のときに強く訴えたのだった。

〈保育士の免許を持っているわけでもない私が保育に関わるにはベビーシッターしかないわ〉

そんな彼女の思いが、面接官であるナオトの心を打ったのだろう。彼女は、社内で唯一の〝事務職兼シッター〟として採用されたのだった。

その日から、ずっとジュンコを暖かく見守っていてくれたナオト。※3もう三年も片思いし続けていた相手が、今、目の前でワインを飲んでいる。平日のスーツ姿もかっこいいけれど、今日のラフな格好がまたジュンコの気持ちを誘う。

今日のデートに何を着てこようか迷った挙句、開き直って手にした※4ベージュ色のラフなセーターに黒いパンツというラフな格好で来たジュンコは、「今村さんとつりあう服装でよかった」と、内心ホッとしていた。

「こないだのミーティングのときにも話したけれど、高橋さんがシッターをしてくれてる家庭からは、今まで一度もクレームが来たことがないんだ。まだ独身で出産経験がないのに、すごいよね」

そんな話を聞きつつ、ジュンコは少しいい気持ちになっていった。ナオトの声が甘くてちょっとハスキーで心地よいこともあったけれど、少しだけワインを飲みすぎたのかもしれない……。

お酒に弱いジュンコは、店を出ると、ナオトに誘われるままラブホテルまでついていったのだった。

でもジュンコは、ほわんとした気持ちではいたけれど、意識の半分ではナオトの行動をずっと観察していた。年上でバツイチのナオトは、馴れた手つきで部屋のミニバーからビールを取り出すと、2つのグラスに注ぎ、そのひとつを彼女に渡した。

ホテルに入ったからといって、すぐに抱いてきたりしない。そんなナオトにますますひかれていた。が、その甘い感情に、緊張感が走った。なぜならナオトが、

「僕ね、四月から九州に転勤するんだ」

と話し始めたからである。驚いた。

いや、考えてみれば、会社には異動がつきものである。だけど、ナオトとつきあうことができないとしても、いつも身近な場所にいられるという安心感がすでにジュンコの中には芽生えていたのだ。いつまでも一緒にいられそうな気すらしていた。

でも、どうやら会社の方針で、シッターの需要が伸びている九州地区に力を入れることになり、彼が抜擢されたのだと言う。

突然の話に、相槌も打てずぼんやりしているジュンコに、またもや驚きの言葉が降り注いできた。

「あのね、高橋さん。それで……その……話したいことがあるんだ。つまり、その……僕と一緒に九州に来てくれないかな」

なんて突拍子もない人なんだろう。ナオトのまじめで不器用なところが好きでもあったのだけれど、まさかラブホテルでこんな告白をされるなんて。まだキスひとつしていないというのに。

もちろん、ナオトのことは大好きだ。だけど、最初からこんなふうに重い告白をされてしまったら、自分のこともちゃんと話さなければいけないような気がしてしまった。だから、ジュンコは話した。ナオトに初めて会ったあの面接のときから、ナオトを好きだったこと。そして、さっきの告白はとてもうれしいこと。そしてもうひとつ。とても大切なことを。

※5「今村さん。私ね、妊娠できない身体なの。それでもいいのかな？」

そう、ジュンコは、子宮の壁がどんどん厚くなっていくという特殊な病気を抱えていて、そのせいで妊娠がとても難しい体質なのだった。

もともとは、それを調べに病院に行ったわけではない。今から三年ほど前に、生理不順と、生理の重さ、子宮のあたりがいつも張った感じがして気持ち悪いことなどが気になり産婦人科を訪れ、MRIを撮ったところ、彼女の不妊体質が判明してしまったのだった。

そのことが原因で、長年つきあっていた彼との結婚話も破談になっている。ちょうど、今の仕事を始めた頃のことだったいくつもの病院をわたり歩いているが、解決できる治療法がないという。もちろん、妊娠する可能性がゼロというわけではない。だけど、確実に妊娠できる身体とは言いがたかったせいで、前の彼は去って行ったのだ。

「ごめん、僕は家族がほしいんだ……」

そんな言葉を残して。そういうことがあったからこそ、シッティングという仕事に、より執着していたのかもしれない。

ジュンコの告白に、ナオトは少し戸惑ったように見える。黙ってビールを口に運び、発する言葉を捜しているように思えた。ジュンコは、じっと彼の言葉を待った。もちろん待っていたのは、ナオトの、

「うん、よく話してくれたね。大丈夫だよ、僕は君がいればいいんだから」

という言葉であった。

だけど、彼は、俯いたままこう言ったのだった。

「ごめん、僕は家族がほしいから……」

ジュンコは、三年前とまったく同じ言葉に、大きなため息をつくしかなかった。すると彼は、こうつけくわえた。

「僕の前の奥さんはね、子供を産める人だったんだけれど、仕事をしたいから子供はいらないってゆずらなかったんだ。それが原因で別れたんだ。だから今度こそ、子供だけはほしいんだ」

私だって子供がほしいのだ。好きで、妊娠しにくい身体になったわけじゃない。それに、絶対に産めないと決まったわけじゃないのに……。がんばれば産めるかもしれないのに……。

子供を産めない女は、恋を産むこともできないのか。そして、他人の子をあやし続けるしかないのか……。

ジュンコは、ふいに訪れた恋の予感と結末に、心も身体もついていけなくなっていた。困惑した気持ちのまま、ただソファに座り続けるだけだった。

〈今回の恋愛アドバイス〉

※1色彩心理学的観点から見ると、アボカドの薄いグリーンは〝チャレンジ〟〝再生〟の色。マグロの赤は〝行動〟〝エネルギー〟の色ですので、初デートを成功させるには悪くない色です。ただ、できればサーモンなど、〝愛を呼び寄せる〟という意味を持つピンクの色の食べ物もプラスするほうがいいでしょう。

※2確かにそのとおりですが、せっかくデートをしているわけですから、本音を小出しにするなど【自己開示】するほうが効果的でした。また、話し口調をいつもより崩してみるほうが男女の関係になりやすいのです。

※3三年も片思いしているなんて、時間がもったいない！　しかもナオトとは同じ会社の上司と部下という間柄。こんなに近くにいたのですから、もっと早く親密になるチャンスを作れたはずです。

※4ベージュ色は、自分にぴったりの濃さの色を選ばないと顔色が悪く見えます。カラフルなショールをプラスすると、華やか感がアップします。黒は〝相手を拒否する〟色。初デートの服には向かない色と言われています。

※5初デートで話すには少々重い内容だったかもしれません。自分のことを話すという【自己開示】は、相手と親密になるために効果的なテクニックではあるのですが、このくらい重い内容については、もう少し相手の人と親しくなって話すほうが受け入れてもらいやすいのです。

【今回のまとめ】

ジュンコは内向的過ぎました。好きな人がとても近いところにいたわけですから、もっと早い時期に恋をしかけるべきでした。30歳を過ぎていて、なおかつ出産願望が強いのであればなおさらのことです。残念ながら、年を重ねるごとに出産のチャンスは少なくなっていくのは事実です。人生設計も考えながら、恋のチャンスもつかみたいものですね。

HEARTをケア。

恋愛、結婚、仕事のトラブル…。
ひとりで悩んでいると
めげちゃうことってありますよね？
そんなときはメール・カウンセリングを。
きっと力になれるはずです。

- Heart Junction -

*メール・カウンセリング　1回2000円。
*じっくり相談できる3回コース5000円もあります。
*電話でのカウンセリングも行なっています。
*くわしくはメールまたは電話でお問い合わせください。

http://www.heart-junction.com　TEL. 045-974-2580

ボディにCURE！

顔、ボディ、スタイル…。
女のコならだれだって、
もっと自分に自信をもちたい！
からだ本来のキレイと元気をひきだして
あなたの恋を応援します。

CURE⁺ キュア整体ルーム

*料金＝初回6000円／2回目以降4500円
* 体質と目的に応じたオーダーメイドの施術です。
* 冷え性・むくみなど体質改善もおまかせください。

http://www.cure-seitai.com
TEL. 03-5485-0211
受付時間10：00〜20：00／日曜定休